

「全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 の細菌グラム染色性情報の有用性の評価」へのご協力をお願い

1.研究の目的・方法

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 では、細菌の細胞内部に浸透する染色分量の違いと細胞壁の構造の違いを反映した情報を分析することで、細菌のグラム染色性情報が得られます。この情報と塗抹検査・培養同定検査結果との一致率を解析することで細菌のグラム染色性情報の有用性を評価することを目的としています。

2.研究の対象

2020年7月～2021年6月に提出された患者様の尿検体のうち、全自動尿中有形成分分析装置 UF5000 で測定して細菌のグラム染色性情報が得られ、かつ塗抹検査・培養同定検査を行った検体を対象としています。

3.研究期間

2021年9月1日から2022年3月31日を予定しています。

得られた結果は論文発表から10年間保管後適切に廃棄します。また、その間に新たな研究がある場合は改めて説明します。

4.研究に用いる情報の種類と個人情報の取り扱い

研究には患者様の年齢、性別、検査結果を利用させていただきます。氏名やその他個人情報とは特定されないように匿名化し、公開されることはありません。

これらの情報は、個人情報管理者：臨床検査科・臨床検査技師 原田瑞紀 が管理いたします。

5.データの提供を拒否する権利について

この研究に検査データを提供したくない方は下記までご連絡ください。ただし、すでにデータの集計が終了している場合や研究結果が論文などに公表されている場合は拒否できなくなりますのでご注意ください。

6.お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、研究代表者：臨床検査科・臨床検査科長 花田浩之（電話 072-469-3111 内線 2906）までご連絡ください。